

CADPACCREATOR 2D

CADPAC-CREATOR 2D Ver.12.5 新機能リスト

■汎用機能

1. 付箋
2. 軸傾
3. 開く
4. DWG/DXF 入力
5. JW_CAD 入力
6. DWG/DXF 出力
7. 文字記入
8. 選択 CSB
9. 延長短縮
10. 重複線消去
11. ビジュアルマウス
12. スクロール

■機械オプション

1. 補助記号
2. ai-Nil 連携

■機械オプション

1. ナット・座金・タップ
2. ボルト
3. 丸皿小ねじ
4. バルーンと部品欄連動

■外部データ貼付オプション

- 貼り付け範囲指定

2-1

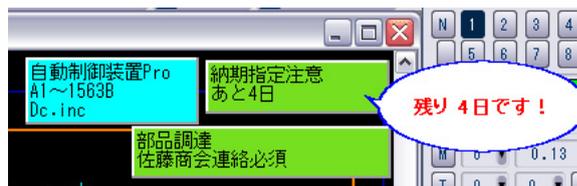
Ver.12.5 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.12.5 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.12.0 からの差分です)
[****/****] は、該当のオンラインヘルプです。

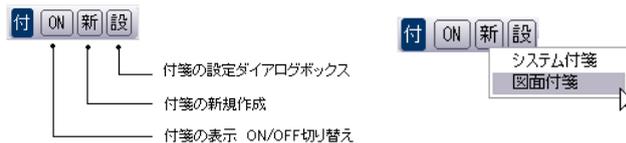
2 次元汎用機能

1. 付箋

付箋機能は、図面ごとやシステム共通の小さなメモ用紙（付箋紙）を作成し、本システムのウィンドウ内に表示します。
図面作成のミスを少なくし完成度の高い図面を円滑に作成することができます。期日を指定することにより、付箋の表示とともに「残り何日の警告」を出すことも可能です。



付箋はツールバーから指定します。[新] をクリックすると、システム付箋と図面付箋のメニューが表示されます。どちらかを選択します。



付箋エディタが開きます。付箋に貼る文字を入力します。



[完了] をクリックすると、付箋エディタが閉じ、ウィンドウの中央に付箋が貼られます。

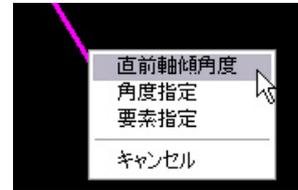
付箋の移動は、付箋の上でマウス左ボタンを押しながらドラッグします。

[基本操作 2/ 付箋]

2. 軸傾

軸傾の角度を指定できるようになりました。軸傾モード中に図面上でマウス右ボタンをクリックすると表示されるポップアップメニューから「角度指定」を選択すると角度数値入力ボックスが開きます。

[基本操作 4/ モード設定]



3. 開く

フォルダーリストの編集ダイアログボックスから、バックアップフォルダを呼び出せるようになりました。

[ファイル / 開く]



4. DXF・DWG 入力

2 段平行寸法、幾何公差に対応しました。
[ファイル / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

5. JW_CAD 入力

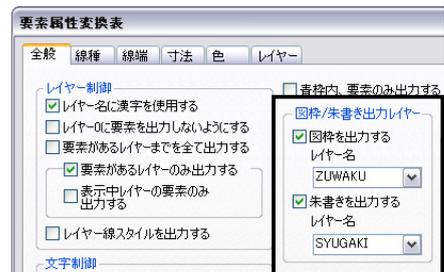
ファイルバージョン 7 に対応しました。入力したファイルに画像が同梱されている場合は、画像を無視して読み込みます。
[ファイル / 外部入力 / JW_CAD 入力]

6. DXF・DWG 出力

朱書き、図枠レイヤーに作図された要素の出力を制御できるようになりました。

[変換条件設定] をクリックすると開く要素属性変換表ダイアログボックスの全般タブにある項目「図枠 / 朱書き出力レイヤー」でそれぞれのチェックボックスのオン、オフで出力するかしないか指定することができます。また、レイヤー名入力ボックスがコンボボックスになり、過去の入力履歴を呼び出せるようになりました。

[ファイル / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

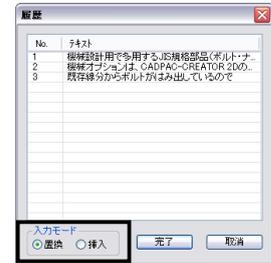


7. 文字記入

文字 BOX の履歴呼び出しで、現在のカーソル位置に履歴呼び出し出来るようになりました。

履歴ダイアログに追加された「入力モード」から、従来の置換か、カーソル位置への挿入か選択できます。

[作図 / 文字記入 / 文字]



8. 選択 CSB

選択 CSB で要素を複数選択した時、要素数がメッセージ欄に表示されるようになりました。

[編集 / 枠選択の概要]

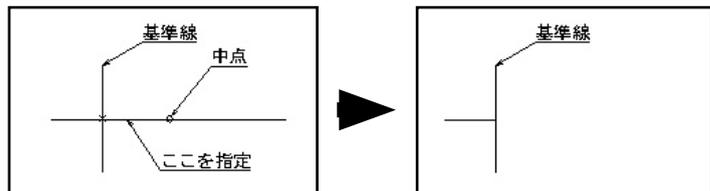


9. 延長短縮

[2. 基準線] モードの時に延長短縮する端点を指定する際、基準線を基準に判別できるようになりました。

[8. 設定] から要素選択の設定ダイアログボックスを開き、「基準線モード時、基準線から見て指定した側を短縮する」にチェックを入れることで、従来の中点基準から基準線基準へ設定を変更できます。

[構成 / 塗潰し図形 / 順位変更]



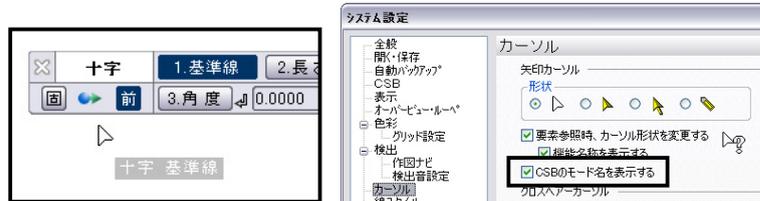
10. 重複線消去

[6. 誤差] に設定可能な値の上限が、従来の 0.5 から 1.0 までに拡張されました。

[構成 / 消去 / 重複線消去]

11. ビジュアルマウス

カーソルの右下に CSB のコマンド名とモード名を表示できるようになりました。
 システム設定のカーソルに追加された項目「CSB のモード名を表示する」にチェックを入れると機能が有効になります。
 [補助 / システム設定 / カーソル]



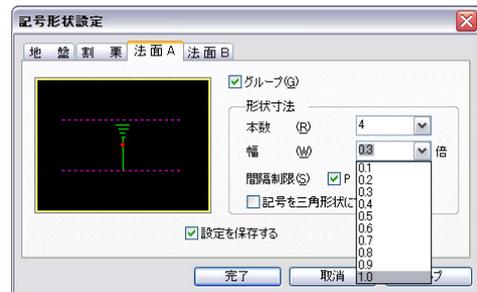
12. スクロール

図面のスクロール幅を表示スケールにあわせて最適化できるようになりました。
 [表示 / スクロール]

土木基本

1. 補助記号

法面 A の幅指定上限が 0.5 から 1.0 に拡張されました。[6. 設定] の法面 A タブで設定ができます。
 [土木基本 / 法面 A]



2. al-Nil 連携

SXF ファイルチェッカーの al-nil (ビッグバン社) と連携し、現在の図面を直接 al-nil に受け渡します。al-nil からの図面受け取りはできません。
 CADPAC-CREATOR がインストールされている PC に al-nil もインストールされている必要があります。
 [土木基本 / al-Nil 連携 / al-Nil へ送る]
 [土木基本 / al-Nil 連携 / 連携設定]

機械オプション

1. ナット・座金・タップ

破線の色と線幅を指定できるようになりました。[設定]の「全破線」から設定が可能です。

- [オプション / 機械 / 機械定型 1 / ナット]
- [オプション / 機械 / 機械定型 1 / タップ]
- [オプション / 機械 / 機械定型 2 / 平座金]
- [オプション / 機械 / 機械定型 2 / 角座金]
- [オプション / 機械 / 機械定型 2 / ばね座金]

2. ボルト

[7. 計測長]が追加されました。数値を入力し、各条件を設定すると[5. 首下長]が自動で算出されます。

- [オプション / 機械 / 機械定型 1 / 六角ボルト]
- [オプション / 機械 / 機械定型 1 / CAP ボルト]

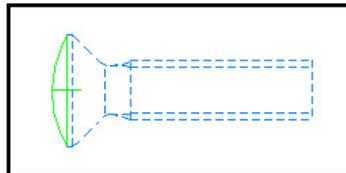
5 首下長 S 50.0000 mm 6 呼び径 10.000 7 計測長 W 35.0000 mm



3. 丸皿小ねじ

[8. 埋込破線]が追加されました。小ねじの埋め込み部分を破線にして作図できます。

- [オプション / 機械 / 機械定型 2 / 丸皿小ねじ]



4. バルーンと部品欄連動

項目入力の履歴上限が 50 から 100 までに拡張されました。

- [作図 / 文字記入 / バルーンと部品欄連動]

外部データ貼付オプション

1. 貼り付け範囲指定

範囲指定ダイアログボックスから「取消」をクリックしたとき、コマンドを終了せず、ファイル選択ダイアログボックスへ再度戻るようになりました。

- [オプション / 外部データ貼付 / 貼付範囲指定]